

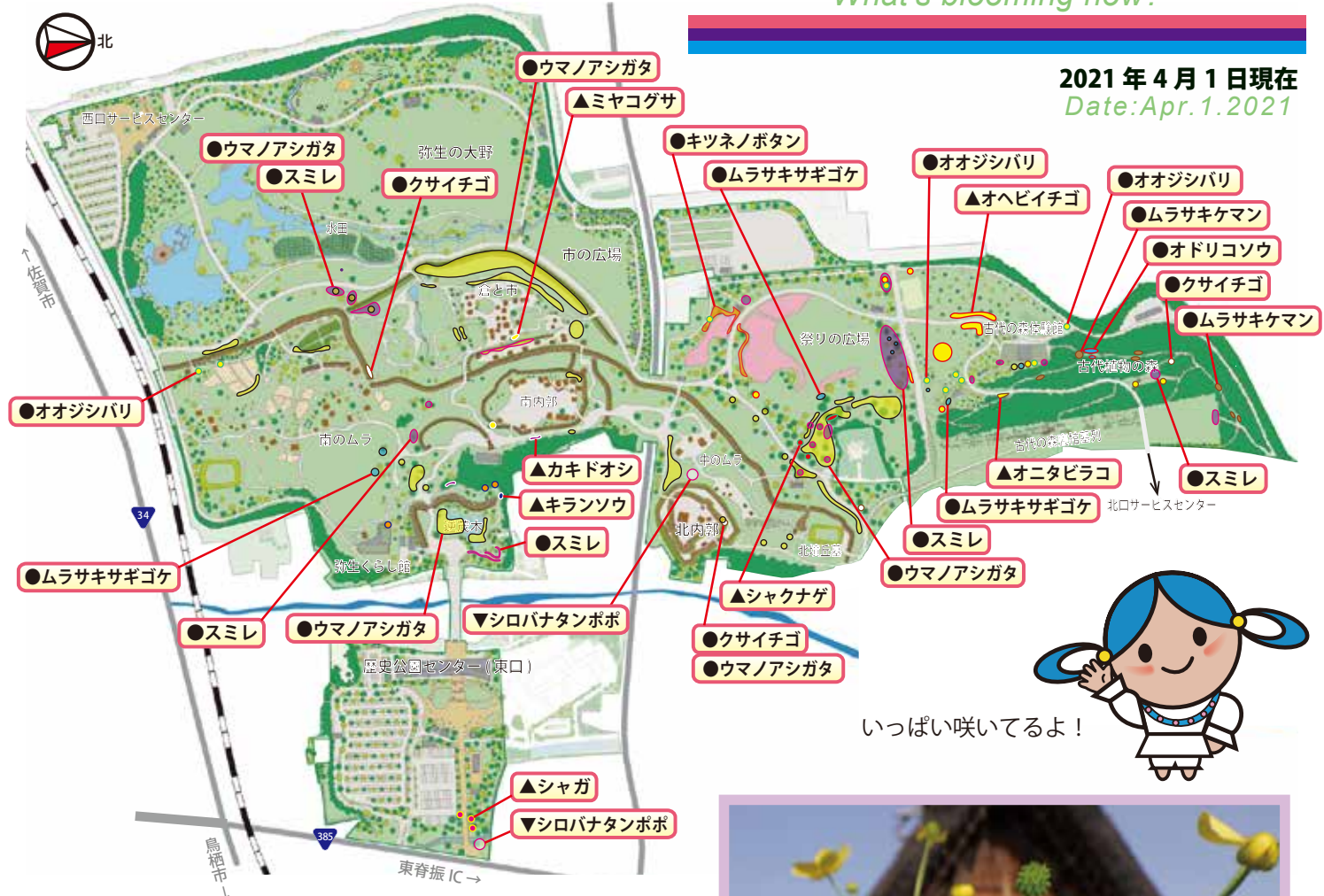


開花情報

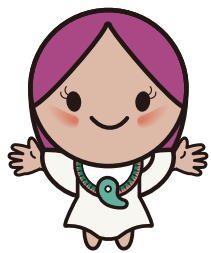
What's blooming now?



2021年4月1日現在
Date: Apr. 1, 2021



いっぱい咲いてるよ!



ウマノアシガタという名前はちょっと響きがかたいですよね…。でも花びらは独特の光沢があってゴージャスなんで～す!



ウマノアシガタ

<p>ウマノアシガタ <i>Ranunculus japonicus</i></p>  <p>【馬の足形】キンボウゲ科 開花期：3月～5月 有毒の成分を含みます。キツネノボタンとの違いは花の中央の形状です。</p>	<p>オオジシバリ <i>Ixeris japonica</i></p>  <p>【大地縛り】キク科 開花期：4月～5月 畦などのやや湿った場所に群生します。遠目に見ると黄色いタンポポに見えます。</p>	<p>オドリコソウ <i>Lamium album var. barbatum</i></p>  <p>【踊子草】シソ科 開花期：3月～4月 傘をかぶった踊り子のような姿が名前の由来です。</p>	<p>オニタビラコ <i>Youngia japonica</i></p>  <p>【鬼田平子】キク科 開花期：4月 コオニタビラコに似ていますが、こちらの方が大きい事に由来する名前です。</p>	<p>オヘビイチゴ <i>Potentilla anemonifolia</i></p>  <p>【雄蛇莓】バラ科 開花期：4月～6月 果実は膨らまずヘビイチゴのように食べることはできません。</p>	<p>カキドオシ <i>Glechoma hederacea</i></p>  <p>【垣通し】シソ科 開花期：4月～5月 隣接地から垣根を通して、侵入することが由来です。</p>	<p>キツネノボタン <i>Ranunculus silerifolius</i></p>  <p>【狐の牡丹】キンボウゲ科 開花期：3月～5月 有毒の成分を含みます。果の形からコンベイトウグサという別名があります。</p>	<p>キラソウ <i>Ajuga decumbens</i></p>  <p>【金瘡小草】シソ科 開花期：4月 薬草として知られており、佐賀の方言でイシャイラスやイシャダオシと言います。</p>
<p>クサイチゴ <i>Rubus hirsutus</i></p>  <p>【草苺】バラ科 開花期：3月～4月 6月頃赤い果実が実ります。食用となり甘味があります。</p>	<p>シャガ <i>Iris japonica</i></p>  <p>【射干】アヤメ科 開花期：4月～5月 薄暗い山林の中に自生し、花は1日で萎みます。3倍体のため種子が実りません。</p>	<p>シャクナゲ <i>Rhododendron japonheptamerum</i></p>  <p>【石楠花】ツツジ科 開花期：4月～5月 葉に毒が含まれており嘔吐や下痢、神経麻痺などを引き起こします。</p>	<p>シロバナタンポポ <i>Taraxacum albidum</i></p>  <p>【白花蒲公英】キク科 開花期：3月～4月 日本在来種のタンポポです。この辺りで見かける黄色のタンポポは多くが外来種です。</p>	<p>スマイレ <i>Viola mandshurica</i></p>  <p>【薫】スマイレ科 開花期：3月～4月 日本には50種類以上の種類が自生しています。万葉集や松尾芭蕉の句にも登場します。</p>	<p>ミヤコグサ <i>Lotus japonicus</i></p>  <p>【都草】マメ科 開花期：4月～7月 名前の由来は京都や奈良で多く見られたなど諸説あります。別名エホシクサ。</p>	<p>ムラサキケマン <i>Corydalis incisa</i></p>  <p>【紫華籠】ケシ科 開花期：3月～5月 葉や茎を傷つけた時に出る汁からは悪臭が見え、毒があります。</p>	<p>ムラサキサギゴケ <i>Mazus miquelii</i></p>  <p>【紫鶯苔】ゴマノハグサ科 開花期：3月～5月 名前は花の形が羽を広げたサギの姿に見え、苔のように広がる姿に由来します。</p>

【記号について】 ▲…咲き始め・実り始め ●…見頃 ▼…咲き終わり・実り終わり ◆…時期外れ